

農業委員、 農地利用最適化推進委員 を募集します。 熱意のある方を求めていきます。



募集期間 令和2年 2月17日（月）～3月16日（月）【必着】

農業委員

農業に関する識見を有し、委員の職務を適切に行なうことができる方

農業委員会の総会等に出席し、農地法や他法令に基づく、農地の権利に係る許認可等について審議を行います。また、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属する事項について、その職務を担います。

募集人数：14人

任 期：令和2年7月20日～令和5年7月19日
(3年間)

報 酬：月額33,500円
(会長、会長職務代理者は別途規定)

旅 費：実費相当額（市条例に拠る）

農地利用最適化推進委員

農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、その推進のための活動を行うことができる方

農業委員と連携し、担当する区域において、主として農地等の利用の最適化の推進のための活動を行います。また、農業委員会の総会等に出席し、農地等の利用の最適化の推進に関することについて意見を述べることができます。

募集人数：4人

任 期：令和2年7月20日～令和5年7月19日
(3年間)

報 酬：月額33,500円

旅 費：実費相当額（市条例に拠る）

担当区域：①笠取・東宇治

②槇島

③小倉・伊勢田

④広野・大久保・中宇治

〔問合せ
申込先〕 農林茶業課（市庁舎6階）
TEL 0774-22-3141（代表）

〔問合せ
申込先〕 農業委員会事務局（市庁舎8階）
TEL 0774-22-3141（代表）

応募 方法

募集要項をご確認いただき、指定の推薦書または応募書に必要書類を添えて上記申込先に提出してください。
指定の様式は、申込先や市内のJA京都やましろ各支店（中宇治・東宇治・西宇治）の窓口に備え置きます。
また、宇治市のホームページからもダウンロードできます。

※募集期間の中間及び期間終了後に、提出のあった推薦及び応募に係る書類の内容のうち、法律の規定により氏名等を宇治市ホームページで公表します。

管外視察研修



令和元年8月20日、農業委員と農地利用最適化推進委員で、福井県小浜市へ視察研修に行きました。

最初に2003年にオープンし、全国的にも人気のファーマーズマーケット「JA若狭 若狭ふれあい市場」を訪ねました。店舗数は5店舗で、そのうちの中心的存在である小浜店の年間来客数は10万人、1日あたり280人ということでした。年間を通じてきゅうりやねぎがよく売れるそうで、売り場には陳列の工夫がされており、多段や平台の活用、季節商品のコーナー、手作りのPOP(チラシ)が目を惹きました。小浜市は米が農業総生産額の約78%を占めていますが、こちらでは生産者同士が販売額で揉めないよう、JAが買い取り販売していました。

午後は小浜市農業委員会で、「農地の利用集積、遊休農地発生防止・解消の取り組み」「空き家付き農地制度」について話を聞きました。小浜市は集積率が高いものの、やはり中山間地は担い手が少ないとのことでした。

短時間の視察でしたが、意見交換を通じて今後の活動の糧となる有意義な研修となりました。



宇治茶まつり



宇治茶の礎を築いた「茶の三恩人」の遺徳をたたえ、その供養とともに宇治の茶業の発展を祈る宇治茶まつりが、令和元年10月6日宇治橋一帯で開かれました。

朝9時、宇治橋三の間で「名水汲上の儀」が執り行われました。これは、この場所で豊臣秀吉が宇治川の水で茶会を開いたことにちなむもの。東宇治茶業青年団の2人が狩衣に烏帽子姿で釣瓶をたらし「名水」を汲み上げると、宇治神社の宮司が竹筒へと移しました。

その後一行は、古式行列で名水を興聖寺へと運び、本堂での式典では宇治茶業青年団の2人が茶壺口切りの儀を執り行い、茶を石臼でひいて抹茶に仕上げました。表千家の三木町宣行宗匠が口切りのお茶と名水を使い茶祖へ献茶すると、茶まつり実行委員長が祭文を読み上げ、次代への継承・発展を誓いました。

この日はお茶のみコンクールや宇治茶消費イベントなどもあり、多くの観光客や市民が宇治茶づくしの一日を楽しんでいました。



児童による 稻作体験



令和元年9月17日、西笠取の岸本さんが所有する水田で、笠取小学校の全校児童19名による稻刈りが行われました。稻作体験授業は今回で3年目。児童によって5月に植えられたお米は立派に育ちました。

稻刈り当日は、上級生が下級生を指導する姿があちこちで見られ、手際よく稻刈りが完了しました。児童からは「最初はなかなか切れなかつたけど、今は一回で切れるようになった。」「今年が最後なのは残念。まだもう一年やりたかった。」との声が聞かれました。

また、11月15日には秋空の下、同校の校庭で収穫祭が実施されました。6年生が煙で痛い目をこすりながら火の番。もち米が蒸し上がるにつれ、「甘くていい香りがする。」との声が聞こえてきました。自分たちで握ったうるち米のおにぎり、つき立てのお餅や野菜たっぷりのお味噌汁に舌鼓を打ち、「お餅を8回おかわりしたよ。」ととても嬉しそうに話してくれた児童もいました。

小学生の時に農業の基礎である稻作を体験できたことは、児童の皆さん的一生の宝物になったのではないでしょうか。



山城マルシェ



山城地域の特産物が勢揃いした「山城マルシェ」が令和元年10月29日、JR宇治駅改札前通路にて開催されました。地元生産者が愛情込めて育てたおいしい野菜、お米、加工食品などを生産地から直接消費者の皆さんにお届けするというもので、今回は今年度3回目。

開催を心待ちにし、開催時間に合わせて来られる常連客が多く、ある主婦の方は「この生産者の方の野菜は安心なのでいつも楽しみに待っています。早めに来ないと無くなるので今回はたくさん買えて嬉しい。」とご満悦。地元生産者も「期待して来ていただけるのは嬉しい限り。」と喜ばれています。

その後も改札前ということで人通りが絶えず、通勤で宇治に帰ってきた人、宇治から自宅へ帰る人などで賑わっていました。



花の収穫体験



令和元年11月13日、JA京都やましろ中宇治支店で花の収穫体験とフラワーアレンジメント教室が実施されました。

毎年開催されており、今年も50人の定員がいっぱいになる盛況ぶり。午前中はJAで管理されているビニールハウスへ行き、色とりどりのきれいに咲いた8種類のトルコキキョウの中から、参加者が思い思いに収穫しました。

J A女性部が作った昼食を楽しみ、午後からはフラワーアレンジメント教室。参加者は収穫したトルコキキョウや用意された花を使いながら、真剣に取り組んでいました。出来上がったアレンジメントはどれも華やかでクリスマスツリーのよう。お互い見せ合って、それぞれ評価している姿も見られました。

参加者の中にはお花が大好きな人や、去年も参加したから今年も参加したと言う人たちがいて、1日を楽しく過ごされていました。



農林まつり



宇治市農林まつり2019が11月23日に西宇治公園で開催され、当日は晴天と暖かさに恵まれ、約3500人の来場者で賑わいました。

これは宇治市内の農林業生産団体等が自慢の農作物を出店しているもので、良いものが手頃な価格で手に入るとあって、例年、開場前から多くの人だかりができ、市民に人気の催しとなっています。今年も人気の商品には行列ができ、午前中に完売していました。

また、その場で味わうことのできるつき立てのお餅やおにぎり、JA青年部によるうどんやフランクフルト、品評会に出品された抹茶や玉露を楽しめるコーナーが盛況でした。

さらに丸太切り体験や、木工教室、クイズラリーなど親子で楽しめるイベントも同時開催され、今年も多くの家族連れで賑わいを見せ、地元の生産者と交流し、地元産農産物を楽しみました。



植物公園タペストリー

宇治市植物公園は1996年の開園当初から名物となつた国内最大級の立体花壇、「花と水のタペストリー」を約1年振りに復活させました。今回で94作目。

かつては年4回絵柄が更新されていましたが、2018年10月より常緑化に。今回公園公社が京都の種苗会社に協力を求めたところ、パンジー、ビオラを計6色、約1万ポット(プランター1250個分)を無償提供してもらえることとなりました。

また、市民と一緒に作り上げる観点から初めてボランティアを募集したところ、予想を上回る200人近くの参加がありました。ボランティアと市内の花き生産農家がプランターに植え付けたのは、年賀状に使用されることを見越した干支の「ネズミ」。ケーキの上に「2020」の文字が浮かび、ネズミ2匹が踊っている楽しいデザインのタペストリーに仕上がりました。今月頃からが見頃となっており、5月上旬頃まで展示されます。

Focus

フォーカス

すがの きよたか
槇島 菅野 巨多加さん

米づくりの父の元、農業を始めて6年目の25歳。
トルコキキョウを7~8千本栽培し、時期が終われば
ひまわりやその他草花を栽培されています。4人兄弟の
次男。やる気に溢れた青年でした。



きっかけ

高校3年生の夏休みに、当時花き栽培をしていた父の手
伝いをしたのをきっかけに、農業を始めました。1年目は研
修の日々でした。

栽培作物

トルコキキョウは現在白色を中心に育てており、朝に200
本、夕方に200本収穫しています。

魅力ややりがい

雇われ仕事と違い、人に何も言われずオリジナルでできる
ところに魅力を感じています。また、頑張ってやればやるほど
周りも認めてくれ、自分に成果として返ってくるところにや
りがいを感じました。

こだわり

地元ではトルコキキョウがあまり栽培されていませんが、
父から教わるのではなく、自ら九州など栽培が盛んな土地
へ行って勉強しました。花は育て方にオリジナリティがあるので、
手を加え、こだわって作っています。トルコキキョウは
お盆明けに定植するのですが、その時期はとても暑いので
遮光したりファンを回して、温度管理を徹底しています。

苦労していることや嬉しかったこと

一昨年は連続で台風が来て、中でも台風21号の影響で
ビニールハウスが壊れたことが一番辛かったです。嬉しかったことは、いい物を作れば評価されることです。

趣味は魚釣り

海釣りをして楽しんでいます。高校時代は野球で甲子園
まであと一歩といういい成績をおさめました。

将来の夢

今後は栽培規模の拡大や、後継者の育成をしていきたい
です。また、花き栽培をやりたい人の受け口になりたいです。



感想

ハウスの除草、作業場の机の上やその周りの整理整頓がきちんとされていて、トルコキキョウの
品質の良さと非常に関係していると感じました。

また、仕事をするにあたっての準備などきちんとされていて、私も取材をしてみて仕事場をどのように効率を良くしていくかを教えていただいた取材でした。(広報部会 水主哲寛)

【広告】

家族・非農家も楽しめる新聞

全国農業新聞

毎週金曜日発行 B3版8~10ページ

月額700円(送料、消費税込)

講読のお申し込みは、農業委員会事務局へ
発行所:全国農業会議所

【広告】

農業者年金に入りませんか

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

1. 農業者なら広く加入できる
2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
3. 保険料の国庫補助
4. 保険料は2万円から自由に選択可能
5. 税制面で大きな優遇
6. 80歳までの保証がついた終身年金

くわしくは農業委員会事務局へ